



自画像をえがく

他人が見た客観的な自分と自分自身が思う自分。その認識のズレをどのようにして消化して一つの絵として表現するのが難しくもありましたが意欲的に取り組むことができました。

「駅ではたらいていたかも」

いま画家として生活していますがもしかしたらこういう生活、職業もありえたのかもしれないという妄想のもとにえがきました。

少し憧れでもあります。

「歩くセルフポートレート」

ふだん道であるいている姿です。歩きながら興味がそそられるモノを横目でみている様をえがきました。